

## 第2回君津市社会教育施設等のあり方検討会議 会議録

- 1 名 称 第2回君津市社会教育施設等のあり方検討会議
- 2 開催日時 平成28年10月11日(火) 13:30～15:30
- 3 開催場所 君津市役所601会議室 公開・一部非公開・非公開
- 4 出席者 出席委員 石橋委員 原委員 平尾委員 坂本委員  
鵜田委員 齊藤委員  
(欠席:高橋委員 岩井委員)

事務局 鈴木教育部長 荒井教育部次長  
矢野生涯学習文化課長兼中央図書館長  
粕谷学校教育課長 小林教育センター所長  
田端体育振興課長 高橋学校再編推進課長  
濱松生涯学習交流センター所長  
生涯学習文化課:布施副課長 當眞副主幹  
大野社会教育主事 和泉司書  
中央図書館:小林副館長 小野寺館内サービス係長  
小糸公民館:會澤公民館主事

- 5 傍聴人 1名
- 6 会議概要

### 1) 開会

#### 【進行 生涯学習文化 矢野】

委員の皆様にはお忙しい中お集まり頂きまして、誠にありがとうございます。ただいまから、第2回君津市社会教育施設等のあり方検討会議を開催致します。

なお、本日、高橋委員、岩井委員から、ご欠席のご連絡をいただいておりますことをご報告いたします。本日の議題について、ご意見をお預かりしておりますので、後ほど議事の中ご紹介いたします。

まず、ご都合により第一回目会議でご欠席だった鵜田委員、齊藤委員に、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。

(鵜田委員、齊藤委員自己紹介)

ありがとうございました。

それでは教育部長 鈴木からご挨拶を申し上げます。

(教育部長あいさつ)

**【進行 生涯学習文化 矢野】**

続きまして、石橋座長ごあいさつお願いいたします。

(座長あいさつ)

**【進行 生涯学習文化 矢野】**

それでは、ここから先の議事につきまして、座長に進行をお願いいたします。

**【座長】**

それでは、まず報告として、この間、社会教育委員会議などでもご意見を伺っているとのことですので、そちらの様子について事務局からお願いいたします。

**【生涯学習文化 布施】**

9月28日に社会教育委員会議が行われ、第一回君津市社会教育施設等のあり方検討会議と同じ説明をいたしました。

「使わなくなる校舎や施設の利用価値を高めていくことは難しいこともあるが、夢を語ることは大事。大胆な利用方法を考えることや、維持管理を考えて、使えないものは見極めるなども必要」「ファシリティマネジメントの観点から、香木原支館などはしかるべき判断をすることが大事と思う」「公民館、資料館など基幹部分については社会教育の軸で、現在のように残していただきたい」

「公民館で、保育園や看護学校と複合施設の例がある。高齢化も進むので医療などもついでに受けられるなど、市民が喜ぶ地域に沿った施設などになると良い」「校舎活用には公民館とあわせて、保育園や低学年の子、学童保育なども使える、地域で子どもを見守るイメージの活用もよい」「学校施設は大きな財産で、学校の時では対応仕切れなかった若者が魅力を感じるスポーツ等を受け入れられると良いと思う。市外からも若者が集まる」といったようなご意見をいただいております。

**【座長】**

ご報告について、ご質問等がありますか。(質問なし)

よろしければ、議題に移ります。議題「今後の君津市社会教育施設等のあり

方」についての検討ということで、前回からの引き続きになります。それでは、事務局から説明をお願いします。

(資料に沿って説明)

#### 【座長】

ご説明いただいた点について、質疑、ご意見等を伺いたいと思います。いかがでしょうか。本日は、前回いただいた資料について、あらためて検討の視点を明確にしたものとして説明いただきました。たいへん広いテーマなので、とくに検討の視点として、「施設の数」「運営のあり方」「その他見直すべきところ、工夫など」についてご意見をということでした。

また、今後の施設の整備のイメージとして、前回、学校施設を転用した公民館のイメージを示していただきましたが、博物館活動などにも有効なのは、というイメージもいただきました。

他に、今後老朽化が予想される、たとえば分館や支館などもそうでしょうか。そのあたりも今後視野に入ってくるということでご説明いただきました。

施設の数、運営、学校転用の例など広い範囲なので、まずは、ご質問から受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

#### 【委員】

このテーマをいただいて、仲間とも話をしてきました。たとえば文化ホールや図書館など、君津市外の方が使うときの料金などはどうなっているのでしょうか。将来に負担を残さないために、今、木更津のホールが使えないとのこと、君津市外からも利用はあると思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。

#### 【生涯学習文化 眞眞】

文化ホールについては、市外の方からは割り増し料金をいただいております。

#### 【図書館 小野寺】

図書館の利用については無料が定められておりますので、市外の方も無料ですが、市外の方の利用については、予約や貸し出し資料の内容などで市内の方との違いを設けております。2階の会議室については市外の方の利用料金は割り増し設定となっております。

#### 【生涯学習文化 布施】

公民館は社会教育法に定められた目的における使用については無料となっております。市外料金等はありませんが、たとえば企業研修などいわゆる目的外使用

につきましては、有料設定になっています。こちらについては、市外の方について5割増しの料金設定になっています。

#### 【委員】

君津市については台風についても大きな被害も無く過ぎて幸いなのですが、避難情報等があると、君津でも避難される方は多いでしょうか。公民館などスムーズに避難できる場所は必要と思います。そういうことも考えた上での施設の配置、存続などを考えることが必要だと思います。

#### 【座長】

今、避難所というと公民館がまず浮かびます。問題は施設の耐震化などもあり、公民館4館は耐震化も必要で、その点とも関連することですね。

#### 【生涯学習文化 布施】

避難所の状況についてご説明します。避難所にもさまざまな施設がありますが、台風や大雨などの際、公民館は、自主避難所として真っ先に避難所開設されるケースがここ数年多くあります。

一人暮らしのお年寄りが、不安になって避難してくるという例も多く、公民館では職員、避難所担当者などが迅速に対応しています。正式な避難勧告などが出される前から、このような対応をしています。施設によっては老朽化、耐震化の課題などもあり、安心して避難できる手立ても必要と考えます。

#### 【生涯学習交流センター 濱松】

生涯学習交流センターは、君津駅に近いこともあり、台風や鉄道が運転できない場合の一時避難などの受け入れもあります。避難所担当者と職員が対応しています。

#### 【学校再編推進 高橋】

学校再編を進める中で、学校の跡施設の利活用についての質問もあり、地域の避難所としての学校の意味もあり、災害時どうするのかという質問があります。学校施設はすべて耐震化が終わっており、それは今後も有効活用したいと考えております。学校としては使わなくなるけれども、その他の公共施設になった場合、あるいは仮に民間に譲渡といった場合があったとしても、避難所として使えるような形にはしていきたいと考えています。

#### 【委員】

ありがとうございます。

### 【委員】

第一回目の資料を拝見、公民館利用状況がありますが、26年度回数の増加があります。この主だった理由にはどのようなものがあるでしょうか。

### 【生涯学習文化 布施】

平成26年度、公民館全体で42万人の方にお使いいただいておりますが、前回お配りした検討資料に各公民館等の利用状況のグラフがあります。平成27年度までを見ると、グラフの凸凹状況があります。平成26年度には増えてもまた平成27年度減っているという状況があります。平成26年度特別に大きな行事等を行ったということではなく、各館の日常の努力によるものも大きいと思います。年によって変動があり、それ以前の年の減少は、台風により文化祭が中止になったこともあり、年によって凸凹があるという状況です。

利用人口の増減、どうしたら増えるのかといったことは職員も研究しているところです。清和公民館などは地域の方に使っていただくということと、地域の外にも発信ということで、たとえば田んぼを題材にした事業で地域の外の人に清和をPRしているという努力もしています。それによりわずかではあります、伸びているという状況もあります。

### 【委員】

図書館の状況が下がってきていますが、このあたりの原因、状況はいかがでしょうか。

### 【図書館 小野寺】

平成14年開館以来14年目を迎えたところですが、残念ながら貸し出し冊数は下がってきている状況にあります。要因のひとつとして新しい資料が揃えるのが難しいという点もあろうかと思えます。限りある資料費の中で、なるべくご利用いただけるようにと努力をしています。

### 【委員】

予算の関係で新しい資料購入が難しいというあたりで、ある程度借りる人が一回りしたということが考えられるということでしょうか。

### 【図書館 小野寺】

ひとつの理由とは思いますが、ひとりあたりが借りる冊数というのが下がっている状況にあります。たとえば旅行案内などはすべて最新のものを揃えるということが難しい状況があります。すべて最新とはいかなくとも、何年か毎で資料を新たに作るなどの努力と工夫はしていますが、難しいといったこともあります。

ます。

### 【委員】

公民館は地域に根ざしているということはありますが、利用者が減っている状況もあります。理由に、子どもが忙しいという状況があります。サッカーや習い事なども多い状況があります。親の就労の状況も土日に関係ないものも多く、子どもを土日など公民館などに連れて行けないという状況もあります。

自分の子どもが小学生の頃、小櫃の歴史の発表を公民館で行いました。学校だと自分の子どもがいないと行きづらいですが、公民館だとお年寄りも足を運んでくれました。

4年生のときには授業で落語があり、公民館でその発表をしたら、地域の方がとても喜んでくれました。学校と公民館が一緒に、学校にとどめないで地域を巻き込んで、地域に発信してくれると、盛り上がっていいと思います。

婦人会の役員をしています。会員の伸び悩みがあります。公民館は年配の方などの参加の機会が多いと思いますが、40代から50代くらいの参加の機会がありません。中年の人を増やす工夫が必要だと思います。

今年娘が成人式だったのですが、その時の実行委員の若者が集まり、夏に公民館でお化け屋敷をしました。それが好評でした。その若者たちは青少年相談員の夏のキャンプを手伝っていて、その時の相談員がお化け屋敷を手伝うといったことをしてくれました。地区のスポーツ大会もその若者が手伝ってくれました。若い人たちと地域を公民館がつかないでくれたので良かったです。

### 【生涯学習文化 布施】

小櫃のお化け屋敷はたいへん好評で地域内外から300を超えるほどの人が集まったと聴いています。

### 【座長】

他の公民館の利用や若者の状況、利用を増やす工夫など、公民館の職員もいろいろと努力していると思いますが、わかる範囲でいかがですか。

### 【生涯学習交流センター 濱松】

若い人を増やしたいということで、今年度夏休みの宿題お助け教室などを行いました。自由参加スタイルで学校にも協力いただいて実施しました。学童のお子さんも40名くらい来て、新しい取り組みをしています。また工芸室や調理室などを生かした取り組みを行い、最近ではそば打ちの講習会から新たなサークルが出来ています。このような例もあります。

### 【生涯学習文化 布施】

清和公民館でも地域の若者にターゲットを当てた事業を展開しています。地域の若者をボランティアとして育成し、子どもたちを対象に事業展開しています。

### 【小糸公民館 會澤】

小糸公民館では子育て環境の充実に「プレイルーム」という部屋を設けています。夏休みには、そこで小学生向けのゲーム大会を行いました。こちらは上総高校の協力も得て、高校生に運営協力をしてもらっています。高校生が子どもたちの先生役として良く動いてくれています。いま晩婚化の一方で18歳くらいの若年出産もあり、子どもから親になるまでの一貫し連続した視点での子育て支援もできるのではと考えています。これにより虐待なども防げるのではと、高校生と積極的に関わる中で考えています。

また、毎年婦人会の各グループによる体験教室を実施していますが、親がそのような活動に参加している間に、子どもは先ほどのゲーム大会で高校生と触れ合うことができる、乳幼児の保育も高校生に協力してもらおう、このような取り組みも今後可能と考えています。

### 【生涯学習文化 布施】

このような取り組みを行っているところですが、運営についてもいろいろと検討していますので、ご説明させていただいてよろしいでしょうか。

### 【生涯学習文化 當眞】

久留里城址資料館の運営について指定管理者制度というのも検討題材になっています。現在職員体制は、非常勤館長1名、専門職を含め市の職員が4名。運営は直営ですが、警備や館内清掃など、業務の一部委託を行っております。

指定管理者制度の概要ですが、多様化する住民のニーズに、より効果的、効率的に対応するために、今までは公の施設は地方公共団体が管理運営してきたところを、民間事業者等を指定管理者として、公の施設の適正な管理も確保しながら、住民サービスの向上を図ることを目的とした制度です。

現在君津市では、駐車場や公園、福祉施設など、一部指定管理者制度を導入しております。

教育委員会では、小糸スポーツ広場、グランドゴルフ場、君津市民文化ホールが導入しています。

千葉県内の場合、昨年度末では、公立博物館が県内に51館、私立博物館は25館ございます。このうち公立博物館51館のうち、千葉市美術館、千葉市科学館や房総のむらなど、8館が指定管理者制度を導入しております。

郷土に関する、歴史的な資料を扱う博物館がどれくらい含まれているかと申しますと、市立1館、県立1館の2館です。

博物館においては、指定管理者制度の導入は慎重に行われているところです。

指定管理者制度の一般的なメリットとしては、接客への配慮の向上と、民間のノウハウを取り入れて、新たな可能性の模索が見られること、また、自らの努力によって利益が出ることにより、職員の意識向上、有資格者など、優秀な人材の即戦力的活用などがあげられています。

同じ団体が継続的に管理するものではなく、期間を区切って管理し、更新時には他の業者も含めて選択されるので、限られた期間内に成果を出すために努力の向上が期待されます。

また複数の施設を総合的に管理できます。千葉市や房総のむらなど、博物館や美術館単体でなく、他の施設をあわせて管理しています。

一方で51館中8館の採用という点で考えますと、懸念される点については、限られた期間の中で収益をあげることと、根幹的な業務である資料の収集や保管、調査研究の両立ができず、入館者を増やすためにテーマパーク化してしまう、ということなどが言われています。

また、人材・専門職の定着と確保が難しい、期間が限定されている点で、即戦力として採用された人材が離れてしまう点なども考えられます。

さらに、長期的な展望の事業展開が難しい点や、先程テーマパーク化と申しましたが、調査研究、専門的な対応が難しいなども言われています。

博物館では歴史的資料を扱い、それを所蔵する方や機関とのやり取りがありますが、そのような方々とのネットワークや、信頼関係を構築するのは、限られた期間では難しいものがあると言われています。

文化庁の研修で、公立博物館における指定管理者制度について、民間の団体では、継続性と安定性、また個人情報保護や宗教的な点での中立性、公平性への課題などが説明されています。

このようなことから、公共の財産としての資料を後世に伝える役割を担う博物館での制度導入は、十分配慮して慎重に行うべきとされています。

#### 【中央図書館 小野寺】

中央図書館における業務委託の検討についてご説明いたします。

経営改革における取り組みといたしまして、「窓口業務などの外部委託」を「レファレンスなどの図書館の重要な業務についての配慮を行いながらより効率的で効果的な運営形態を目指す」という検討を行っております

現在も図書館では本のデータ、電算システム、施設管理については外部委託を行っております。また貸出や本を書架に戻す作業などについては日々雇用職員を中心に行っています。



アウトソーシングにもいろいろな形態がありますが、指定管理と業務委託について説明します。指定管理は施設管理からサービスの企画提案すべてを業者に委託する方法です。業務委託は特定の業務を委託する方法です。

県内での実績は、中心館に司書をおき、資料保存や資料相談といった図書館としての専門業務を市で担保したうえで、分館や夜間において業務委託や指定管理を取り入れるというものがあります。

図書館協議会でも、民間運営では収益が求められるが図書館サービスを維持して効果的な費用で委託が可能かという質問がありました。

業務委託等についてはサービス面でも費用面でも効果的な方法なのかを含め検討する必要があると取り組んでおります。

#### 【生涯学習文化 布施】

民間には民間の良さ、直営には直営の良さ、また逆にそれぞれの課題などがあるということで、最終的には、市民のみなさんへの良質なサービスが一番大切なところですので、そのあたりを検討しているという状況です。

ですので、今回の指針検討資料にも、いろいろな方法の中で望ましいものを選択していくと書かせていただきました。

#### 【座長】

運営方法についてご説明いただきました。これについての感想などやご意見などもいかがでしょうか。また施設の数については、さまざまにあるあるということですが、これらについてもいかがでしょうか。

#### 【委員】

みなさんのご意見を伺う中で、地域の公民館が重要であると認識されていることが多いと感じているところです。やはり、ぜひ、そこは何とか財源なども工夫して残していただきたいと考えているところですが、3分館、支館とありますが、香木原支館があるということを知らなかったもので、支館はどのような状況なのでしょう。

#### 【生涯学習文化 布施】

香木原支館は旧香木原小学校施設を使用しています。現在は亀山分館の香木原支館と位置づけていますが、一般の方への施設提供はなく、文化財の収蔵庫として使用している状況にあります。

#### 【委員】

この文化財に関して、いろいろな方に見ていただけるような状況にあるので

しょうか。あるいは、見ていただくようなお宝のようなものはあるのでしょうか。

**【座長】**

いろいろ資料は置いてありますが、いかがでしょうか。

**【生涯学習文化 眞眞】**

香木原支館については、残念ながら展示のスペースは無く、資料の保管という状況で使わせていただいています。中には埋蔵文化財、民具、松本ピアノ関係、上総掘りの関係などの資料があります。

**【委員】**

文化財ですので、建物もだいぶ古くなっているということで、地震等が来てつぶれてしまい、せっかくの文化財がだめになってしまうということも困ると思います。いま他に保管するところが無いということで、ここにあると思いますが、経費などはかかっているのでしょうか。

**【生涯学習文化 布施】**

年間の草刈などを地元の方に委託しお願いしていますので、その経費と、警備の経費などがかかっています。

**【委員】**

これだけの建物をすべて維持管理していくというのは、今後はやはり難しいこともあると思います。たとえば、この支館なども役割を終えてどこかを活用するなど、これを有効に、かつ合理的に収めていくということを考えていく必要はあると思います。

**【生涯学習文化 眞眞】**

施設の老朽化も進みますので、考えていかなければならないと思います。今後学校再編等も含めて、施設の有効活用などがありますので、有効な策を考えていきたいと思います。

**【委員】**

お宝にいい・悪いといったは申し訳ないですが、復元できないような歴史の資料は落雷なども怖いので、たとえば久留里城に一括するなど、保管方法を考える必要があると思います。

### 【座長】

久留里城もスペースは難しいのではないのでしょうか。

### 【生涯学習文化 眞眞】

久留里城もスペースは難しいところです。資料にも、箱に入れておいていいもの、虫の害を心配しなければならないものなど性質の違いがあるので、その点で保管場所を久留里城、香木原などに分けています。

### 【委員】

民営など運営の話がありましたが、図書館は無料で借りられるのがメリットで市民のみならず、学生さんなども多く使っており、有料化や民営化というのは難しいかもしれませんが、資料館や他の施設は維持するための有料化などの検討、民営化という点もあるのではと思います。ただ、儲けが出ないところを民営化してもやるところがなく、その分人件費が嵩むから有料となって高くなってしまうと困るので、そういう性質のところは市が運営するほうがいいと思います。

もう一点、私はボランティアの活動をしていて、いろいろ回っていますが、地域によって、子どもが集まる公民館、高校生や学生がギャラリーで勉強している公民館などもあり、若い人、20代から40代が少ない。その人たちは公民館の使い方がわかっていない。自分はボランティアや、PTA、相談員などを通じて公民館を使ったことがあるので、使い方がわかりますが、一般の人は公民館を知らない。サークル以外の人にはわからない。手続きが面倒という人もいると思うので、そのあたりを簡素化したり、たとえば市役所の印鑑証明もとれるといったものが合わさっていて、ついでに寄れるようなものもいいと思います。

学校は、少子高齢化が進む中で、地域によって使い方が変わってくると思います。たとえば老人が集まれるようなものにするとか、保健室を病院にするとか、そこに学校の子どもたちも使えるようにするとか、そういう発想も必要だと思います。

スポーツ施設も学校を使って、子どもたちが使わないときに市民が使うといったこともあります。みんなで利用できるようなことも必要かと思います。

### 【生涯学習文化 布施】

いろいろな活用方法についてご示唆いただきました。ありがとうございます。料金については前回会議で申し上げたとおり、全庁で検討しているところですので、その点をご理解いただきたいと思います。いただいた考え方については大事にしていきたいと思っています。

先ほど校舎の活用についてご説明しました。今いただいたご意見にもありましたが、さまざまな活用について校舎というものはたいへん機能的で、また全国でいろいろな例がありますので、そのあたりも視野に入れて行きたいと考えています。

**【座長】**

ほかにいかがでしょうか。

**【委員】**

小櫃にもスポーツ広場があり、管理はどこでしょうか。

**【体育振興 田端】**

管理は草刈程度で日日雇用職員が定期的に回っていますが、グラウンドの整備までは手が回っていない状況にあります。

**【委員】**

小櫃も定期的に見てもらっていて、子どもたちにもいい環境と思いますが、市外や県外からの予約が入ってしまい、前より使いにくくなったという点を聞いています。地元にあるものを地元の人が有効に活用できるような考慮があるといいと思います。

もうひとつ、バスですが、子ども会も規模が小さくなっている所以他の地区にも声をかけて人数を集めて使わせてもらっています。市役所のバスなので時間的な点などもあると思いますが、また、遊びに行くのに使うのもどうかとも思います。交流などの利点もあるかと思います。そのあたり、もう少し柔軟だとありがたいと、これは一保護者の意見ということで。

**【体育振興 田端】**

スポーツについて、小櫃、久留里については、今市外からの使用は少なくなり、市内の方に多く使っていただいております。少年野球、学校、体育協会等は年間を通じて優先的に使っていただいております。松丘スポーツ広場はサッカー場が8割、トータルして5割くらいは市外の方、神奈川、東京の方もいます。有料についても検討していますが、一方、それだけ集客力があるという点もあるので、なんとか地域の活力に活用できないか、たとえば市内に宿泊したら無料になるとか、そのような仕方もあるのではと思います。いろいろ相談しながら進めています。このような観点についても、ご意見いただければありがたいと思います。

**【生涯学習文化 布施】**

生涯学習バスはもともと民間の観光バスと異なるものであることについてはご理解をいただいているところですが、利用希望の裾野が広がり過ぎてきた感もあり、見直しを進めているところです。地域の子どもの活動など、現在も夏休みなどにご活用いただいています。より教育の充実にのぞましい運行のあり方をめざしたいというものです。

今回さまざまなご意見をいただいておりますが、施設については、スリムにすべきところ、あるいは地域の運営については、たとえば市が見るべきところ、あるいは民間の力をお借りするべきところ、このあたりの総合的な点についてご意見をいただいております。また、施設の維持更新が必要なものについては、施設の有効活用、地域の活性化という点で校舎活用が積極的に考えられるのではという点をご説明しました。

ひとつの例として、バスの点もそうですが、図書館分室のスリム化などもご説明しました。本日ご欠席の委員からご意見をいただいておりますので、ここでご紹介させていただいてよろしいでしょうか。

**【座長】**

どうぞ

**【生涯学習文化 布施】**

「本日の検討会議について、所用により欠席させていただきますことをお詫び申し上げます。つきましては、甚だ恐縮ですが、文書でご意見を提出させていただきます。君津市の公民館の再編検討についてですが、君津市の各公民館は、他自治体と比べ、地域住民に対する貢献を第一に考え、無料での施設の貸し出しや、子育て支援などの様々な活動の提案など、積極的に地域へのサービスを行っていると感じます。また、地域の公民館としての認知度もとても高く、長い時間をかけて地域住民の拠点のようなイメージが確立されています。当然、人口減少により利用率だけ見れば下がっているのかもしれませんが、必要性については地域住民が一番に理解しているように感じます。そういった意味では、現在の公民館数の維持と、それぞれの地域で根付いている公民館文化を継続できる方針が必要と感じています。」以上です。

**【座長】**

いろいろご意見をいただきました。他はいかがでしょう。今まで出たご意見を加味していただき、全体の素案作成を進めていただけるということで、今後もよろしく願いいたします。それでは、今後の会議予定についてお願いします。

(事務局会議予定説明)

**【座長】**

予定については特段質疑等無しと思われます。本日の意見などをもとに、次回指針素案をお示しいただくということで、引き続きみなさまにはご議論いただきたいと思ひます。議題も終了したので、事務局にお返しします。

**【進行 生涯学習文化 矢野】**

座長、ありがとうございました。それでは、事務連絡を事務局から申し上げます。

(事務連絡)

**【進行 生涯学習文化 矢野】**

それでは以上で第2回会議を終了します。ありがとうございました。

(15:30終了)